



截 高二百康 高二百康二百康二百康 高六百三十五 高三百俵十人扶持 曾秦戚多坂坂坂坂坂 察橋京室 高 曾谷て吉 波江長伯 南谷玄梁 野間玄球法眼 宗え 宗苏 成式 委員 祐寿 マ Kitasato Memorial Medical Library

こうれ 酸中に愛帰としてきまのひょうやちんよう 高千五百半井大和守成养 高十人扶持 半井家い友」を代わってい家く形乳丹彼れるけい ゆくそのときなーかしてもろうちょうしても それをいいろうるこれ世代国民してつうて い例 くろとの~~ 通る見せらと 禁握ううろう 得里を見して 孝原をとをやくれったちんくよをう 限中れはなっときのうく世半井 福里というきをあろうろ 三百萬十 「ないとうななんなのませんと Kitasato Memorial Medical Library

大社に言うゆうときろしろくれいし手がすます 百体を「ろ何」のそうしてるのかられときししのなどうく を使くうろうを水い手手をうう 市で見ちうそれても けぼうちちんだりとあししられるなこうちゃ そろ陽里又やきほそうしていいし、世事のうし くろうりりたころをすけったっこうをうろうけんのけ 朝やられるの見とろう ろをするをうてはそれまたに重福書ともうこう

家有院教けないそうなまってやちくろうえをりとう

しんわくしてもしんちゃうちょうろうしのかけな シュシアへのあるころくろう 山田思きるれましてているのうちょうちょうろう たんのいうれるのからこのない 内まう おとうわれってしてきへんむみいれきからみあわれるう

ちまえいてきれないときと思う怒をうとう半井に満着にあ も又なきとんくとしてろうとうとうしていないとうとう

あってい

いうくくろのうとしていろうはえいろうし

有意う 文郎之 常富くれあいの 有体をがゆれいくんできて、夏保え手るちちを手そうとと いてでである- 近言ない年 もろうろうちをいうちょう 言葉たしかましいううふえき--体えるたうに随きで見て のはようのはなとうとうううううううう ひとろうちないとこの伝をくれらうりの手をちてして そうことそうろうしんうううをうきたいまたりそうきま 又に用うはんのもしてきとうれ もちょうできていた素というる見出まいとうろうろうう ほしてもういろ国となちらるとして言語と語を活風 3

はほうとうれめるでいとろうして言をできますりなる

際日子」なり、佛名風愛風放室的院屋とそろうらう

そうな適差にろう事みるころ手はなれいた大了又通の良う

えていらきくまううはろいほんしますはっちょし

そうとこころの他のぼ美いしてきたったうろうもくのどろ

陸居る

唐明とれる朝しくしまうといえまれるとしまううちち

The state

ひちちゃうとうむ太市しんま わしろいろううろれのころ

曲山間中ショーを利の学ろうなと経して 日かられはう信人ういかしているのろうかなしょうの 観南子うるをといるが行民」ことをとくしてきをうちろう 例をきうかをしていていいたをろうの細いせるれろうろう ゆとのおうきをいをとうふろいうへかい いろのものえ けぼうかかってしていうことのそろう又親有多がろう - そうきちょうやましくびろー 坂体とちっていろく えれいたんかなな

Marshit Marshield

行うなるのないないないないないとう

百一千二百石

史書版 医之后者

今天路中势天雨 路庸

とうれいてきううのうきかきろうろうろうろうろう ちろうころううちもうすっちていろうちくしんろう きりょうきまいうほうれちちょうであび 半井をちょういろしてかししんとろう しましてもうしたけしまいいちの見るにちのろうし しまうしてもはなどううしょうし さっちっているところとうろうしろりのものろとはころうろう 唐四宮とろして 認く下と書いてしてもくして み わらくきのうきしうして あましろ落らない ちとう年 学校 ナインシア 肉書うろうれおりー おとううくしいちうろう天をうちてきすりょうのなのなそろ わって言町あるてーろ我ないたちをそう ころうもよううういううけるあるならとろうとしろ 招信しりかってかいこう「「家」」など何くと ふうえる何しましていきをちろの見らうない 送我天白をいゆげ、兄にこれ、あうしてと書きますよ えいたいをやうししきしますを朝房落ました マーろしえれ ふらいちなーレンスを記をまうう えないないないしんであるのとけかをそうんてをほうと 朝のできとどろうしんを福むるころのいっても利 のはそのにいいしてもまれてきをたえるみ」と 南国人かんし そとうからうてちなきんはなま、 見いくそしてをしていろうちろううろうううう 天静を将してえるとては版を行てを通知さと かいことしてることなくころ大夢けのろりり

4ave こにいるとう時にすっては、「していたからゆ、 は国国民していころはちちとろいちのの「ちちろんろんろう きまぼうれると 物れ すれくちんと あまりのう えるとなとうくそううなすしてもうしまうの 古年人もう、空信を下ち、感し、客住属とろう 報をゆうろろのとわりれいけまであしているなってい 通こととろことりまするそれられられいあてくれないので さて中らん年時震歌と又を除こ あんときろう又ろと 慶幸しと あしこれろけるほん とろうしれるまと 法小授けりと曲道町の名をいけ人きを残ら降る後ろ くちにもしくしりちましてして、 この言を取りく のえとらに上信くなるとろくろうらうきろうえ しとうしことうならくろううを朝とうくるれん うくらくちょうしちろとちらして切大りあるろうどう すまろうむきちを又ううろ小屋してるを一殿 ころちょうとをの中からほういろかっして思い るまの言語からくころうなけらう えるとしゆり、十きましるなっとは人をしてん一陸送き れして文禄に手ふらしのまちとしたからしろう ほうそうりかしく思うといいときしてつくとやう おししきえるいうらうとろろうしてもあし 

ちてくてるこれやすけとうゆうえまけらくれはよっとわれるう なっしはほと足妻院事件を和しとうしろ なしていていていていているとろの中のほうます そんのとほろろ下時まの多いろ間親にというほろう 白信そうろりもしての「まちととれりしまれ 台德院別小部一いれ人をほどれどうしろしてきる手住 ううとりきましいがろれいしてときろくはろう るっとううやく希望においろうとうちょう リテキモなけまうれはそう、地までやうちょうんない うだというしましろもちちょうろういうれるまううにくこう ろうりのほうますりくろうりいまうましています うました ほううてまちにないけるからして、 例くろうしてきましていていたののないろうちをできましていたのでいろう しくれからりの手とまたいわて屠殺の初と こにかいっしくろにはあどれしりれいりろくちまえを気 に初きときころんましろししほん回のとしきのもちろ 感じていいうううないもえんともなみらくとて するしろくえているはいちとうしていて、国気をきろう それろうどうでもあったいけるまのひと言いのとほろ 图 | | うろんくろれら手丁というかう 我気とあからいてあのとろう

大敵とゆいけらんちゃきまをほうるし、曲をのと 山宮を見えけんとうろうしろくしていていているとうろう ち磨くれくるれけなどっしいおううちくうれて、 ちくちちしろのろしいわりしまくうしてい そしていしましょうこうなのは小ちほとうしい 加ジシャーシーを行ちをテレーシャーショー ちょうでふくうがをもう行きるとんまうをいうか ふうあえまれらうましてかりないとしたなとうちいうなー 教育と経しているうろうくちょうなろううえ ちろうけー甲る手とろもののでうたもののらろと下 いての教ののいわちるをとうころれを御ろうろところう うちんをするえ 国いってんそうてというがましてんこうえ そうちょうまーキシモーとろうたのかくてろちとちん 1月かりやううううしろ後をます院事を使えどともな えれたぞうろまー 考事义親はうけんろしんんなちのえろをてよこの えかいましまゆれるく ちちんでうちれい それらんらまる

こんれた之歌が、記ろうかろうかってほにろうう 後えしていうえんをましこのかうれるを移動と ほうれ、しろやく 近気ショー やしょういとうこれのうなる なんことのえらうころをあまたしたらまままろー「聞」 教気とろしていうなきましてうしてもうろろうちょう わんちれろう 馬ひきれーわ あまちして又取彼っきるともろうしますろううれた うちょうとしいうないまであまのかんでしてかかっていいま してれを得まううまうとに後妻院性室を閉とろと

福えーをうけるは春日ろかれせりして 年年こう 曹子書ひてろうりちまををうしてしまのら派をあった していましのーーをませいましょうすましょうにもにしたう きまちょう ろう ろう ろうしんて 上京和国をしいてもしょう~~うほうくうほどはき 記ちゆろれっかろうしまえと大きしやしておしえまます うしきひち「御歌」のい教品ろううてかそかったや えきもう 得まうしまうしたうなまう院名言をなしろう ろうちろうていなとしてうていろうちえたろういろう ーたろう

えるろうちょうまそうやいうたらの世界をうしとて

有信ういうえしてうれられいろうしろ手丁ま 方便くたけずれるほどろうろうろううーうしまうかい 小も、ゆらわうしてもろうのううろくときなん まうようもうれとろううとろれろく手ろろうしろうき りましたろうゆうなどあししいましょうよう うれてき そうましてもいいこころれうきにろき 日をいろえて 親要著些書 清新 高友堂文集 院高い言をととう~~ろう ちんりろええをいいいかうことうかいちなうしろ まちらうううろししくしろを行きううろすうにほど落年 - A MAN

ロシアをかえるろうもろうろうしていほこともなして そろ ううほれとあた-ろうとん-とろくのかからう いいましょう かのしましたの彼りちまして利なし いうま と見ててんしころは レナキシアシシーチャッセくちょうしてのほかのと いぼとうしいりちの年しころすりようほろのるとうろう そうしていうのいけく曲道原来る良らゆをんどうて りとれてますしろうとあっている素を教とおころの下 おきのとうしろうりころするキナテノシアはまいとろう らえてたろうちとろれてうこうないをやりましょ おしていうちょうキーシャンとろしいしいろくろうとう 「ころのの」「「

依々不成預六世依~本太南左三門洗 定湖山田 うしてえみてうころものろうしておころのとろう そこのととしていていましてい そしいとくいけないゆるあろう+ 不らいもろにく はろる事行民支国を伝してとうしろう おうなとねけ利害してろことねとくろ言をたまでか ると思るともう すしうまーナン南」して死を聞るろく人をあっている いかりいろと妻をろこを後を話を順いれるもうを 又就報うとゆすぼししう年しょうまうようとう 生まししていいせきのとろうえうキー アシテアケ えたりこのたりううのちましきもちしましてまちの子を入 ちの日をひろうゆうるんないあいうないにとうとて あいて しきまちのほろううろうのこうないとうとうとうと このなうる一親やとなまらるとしてはなどほうとう 十日ならる一般ともなろしろくちょくうりれてい 今大路家系圖略 本國山城 故冒活 宇多雨な 笹乾腾 五七板

坂部た門 教真長男

馬湖左衙門尉廣真三男堀部左 美大成網小世

00正盛 守真 甲世 正紀 美王院堂三法印 女子 東 親氏 女子 親昌 花 有 天台宗城列爱送教学院住成 カイ 女子 女子 女子 買守要す 正紹妻 實明之 藤三 民部大輔 道三 舟渡邊宮内火神 女 石尾志要守治昌妻 後藤庄三郎一着世書 曲直津支隆妻 吉田主龙門 丹田玄岱 妻 王水 兵部大輔 世間後根沫守網清城 今大路翠竹院道三 曹葉愛 吉 早世 早世 する祖を感義を 再嫁奈須玄竹法服 サテ 親清 女子 中山瀬 云 金 ~ 為尾別家 醫师 親後一步書 カユ チイ 曲直版美官安克正琳妻 に山内膳 王帝主 後城一田山 後家下因本主治 正因妻 典藥即 手道三元態 城一田中清六 治子人を見 兵計大輔

サイ え、サ家女 正 庸-正福 去部大輔 方基 東 親頭主視 武部大輔 道三 女子 東 万里之即 早世 女子 キテ 寶祭 高奈須玄節 舟澤軽士 使守信義 女 梅之助 寶山高土雲信所男 大力之卵 早世 伊東主税 妻 保田一學守庸妻 早世 人見又兵衛行充妻 兵事大輔 民部大輔 中春大輔 立乃次即 壽團 サイ 親興福水表故正武二月 正福 女子 女子 為親興養女 軍事 女子 サイ 书五川龙門線明妹 した兵部大輔 兄養子 ▲志本左京 常式妻 早世 早世 親與妻 通こ 2 2

大献えてるとれるものでしてうろうとろうことのほうな そうしてほうはいいますとくしときまうろろもろろう きゆるりしてんし行うてもとうとう ひんちょく るまちろ そりってとしていんらうりなくもくそれようなのとの 年ないうのなりなっているしているのまうにしょうでんんうう シートシート」の保シーてるれてしたらうれてもう又愛地度う そろとうて確いいろんしうう 国を国ましてきるころしてほど相美をなとれしたし くいくもろんしろのほうまころれいしたうこうきろと りちましてきょうくはろ何とうのけもころにあるときもももできない しゃれいめしとうれなくのはれていもうれりうろく

大敵とあるのれていうをなめてあるもうもしれいあってろ ちぼくしたしていろのほうちりますがろ のはなしんとしていくときれていきますしろう そちないちののいろしてなちろうりに、近ことなくっついたく 曲尾を通えしくを行くれてしてきをしてくるも 夏ううろくとしてをなく死し都静くのに

周本 玄治

高千石

りちまやゆろうとうするとうだしても は----ろうろう---ろぼうしうころ年をなた うちもちらんなまますころろうよう、ちまちろろてろちもとうと そり ことてない-- ちんの屋にしていしてないといえ. すうきころんとうしていたい やりをきちんしろうろう 十ちってきしいとうたとうれていたうろう えきーーろんとうほそろととう いうこくろうちゃん うちとうまーことナイリントしたを 得ちろううちしては後と方 ろうしんないろうちょうううあまのあっとうなしん ちろれらいもましてうろろしえるころをもちろう うちいないとこしろり しろくちのろうしろうちのようれ ミナちとろうののいとろうししう女家シューシアマーチンマをあ とうしたいろうろうちょうなりましていろうろうろうろう ろうちーー りちゃうしょうしこう ろうろんを 好きろううちょうほどうほ はるかるほうなしろしらくちぬらるしてもまでんしうほうま りえい 市村あめはとつしいうないをとろきは水 -----

00 周本言治 唇迪克 一玄治 -女子 早か 高千九百石 泉 青山 啓認法派 そうていたろう ういちま うりたて 弱舟 - こうろんとしてなたまると きちょうろしては ちちちちちちちうわ なとれていしくうことうろう 見た 国本多外系圖 支治 啓連見法印 臣本言治啓迪院 東 早世 女子 早世 女子 女子 早世 玄琳 ーいうちの気にとろう 曲直源着安院法印 一支林啓思院 支治書化落世境 and and a

常言を、美国うろしてしまうしろうちろろうちのいいろう 常言をもちけるころにあってころうれはないなとうな うちちょう けってもう じないしてううまれとしてんとうう 古思ろうろういろうとしいうろう~ あるようろうのろうしてしてもろをうろうろう 佛をいえてきまう」なってはっていろしろ そころ何れををなるろうのうう豊きろう~~~ 二日之りみちます 写出こて あっていれることのえてい こしていかん 「えっていましまれまうまでうがをしけいなどをすい やうえっとをきろしし やう人をもうろうとうく てそこうろ こうとうれましこのろうなんしくろうないろろろろろろ そろのろこちほう 「うかく 磨らくとあく 教 にんろううちん 曲方原かりいまえんとうろうことをを見らゆそう ころからの院 らろはいころうろき 「まちりしろえたちをほう 曲古風命とらねて後けしりりろろ了曲直風言る院 けるしてもうというのを焼かしてくちかいことうとう 大からましますよう そのであの見えの伝人をなていまでのの けんどうとうれずから見たいうちちろう とねしていいいいろいろし

うくこんれはきっとうしこうほう年モナーもううとう妻

まちろうろうれいののにとろうしまな二万倍とろうえん

Hor an

言人二年一百年よういのよう他世近風書う使民国の

## 曲直瀬正英

高二百俵

しいいようともいうようろてあるのうんがきたいろうと りているないましていましていないというというとうしていてんてんてん はゆえるの正接とういる時村中のいしるのとうう

「常言ろうろろうしゃしていなりりちょうほうま ちとうれるくうわとろうこうちょうしの事」「年ちょうちょ 待からうちろうれはゆうかちらちをな舞してるか ちろうのろうにくろうしちろろろうくらえられる夜 ろうちー ワナーモー あそ ナライションえをしてあるれてちまう うしてをうとしてをうとしているをしている 近ころうかまーは後こうしたの ちちちろう ちょうしん とろうい夏福三年考えいうとう時代してまるねというた 写をうしてかっ、又よらを焼くかの客を住てくったのろとろう 西京シーンしてれえ福い年っまちしまうねて やししろうろうころののちもとうたろうれろうちまのひと言う

the -ナビネーテンナーの「日本」 ころのかのわってん 有きまういろえてしていましきろうとうのまちえけるまうほ 来生きう、肉えーしていうそこになっていろううい ちたろくろえしとしりろうろしく手伝をしてれしく 高千石 まうはんっけんとうれこうほどうろう-しちんたろう 一下の日間に ろうきの使後とうたというえころをうれるー ちちょとせろと いろうろうしていていろうろううののでやしと ほうわしてう世辺の素はほこうし、素住民しちこ れまういとろうしいきまろころりひろうしんとし 行のふいたいまうとかくあるみくにほうたって 江京人をあれた日子とうかいの話をからう ちちらう世の気をとろいろはる年をかりちちょうくく 御田でもく世長をあろろうれてろういてもちょうたろう いるくとろ~~ ほうちろうあやとうう 夏のとろう 林まちょうくちまい雨を~~ ひし そうなころんとれってうしるは他大人保をきいったし 竹田治部師法印公钦 1

「「こうろんしといく」ましきといしてきるこれですう 青言えいのかってないっというしろろう、御根やしいはた あちろうろろろうろうしましていろうう こかしていろう 大敵ろうろろしてもうまえる「あろうりまで又ほうりまる 大献られのけてしてりそうるましたまでうろうあいっちっと うう キニナ マキー チャーナー うちろくし うんくし 一かっきとれら いたいしていいの人をもう年であるか 又にちょうはほうとろしこれもうこのえいろののあうう 夢ろうろくしり手 うちているという ちろうちのう ういちいりますしまるまでしたいのとうというしている うるえてうりますというもって、「「しみ」きと行 えんろうまーモチャーチアうわく 弱えしてとことをもしたり刑ひてきまの えるとうろうろうちろうろう いろえころくとろいりてきょうまていろえこしのん うちんとうとうれもあるにやとろうとしろころをアマーろう しまたいとういかってもちをしかけしていく そうちょうとないろしてろれもうすろうの日うとうないしまえ しろうりてきーを、きれていいろうころりの気いた うわしんではかえしとうとろろなけるましをして えましょうせいしまころろしろんして ううろんて

ちろうのあるに そうろうのうち 坂上地院 宗孝

高力百石

三言語書院のあいたい書いいれてい a say the say 林っていたいの そうやく うちんとしこう もちとほうればきにとろうそうちょうないろうん 茶院ときっとこの言うこたりちょうろろれとうに行ん えんちまーをすてしたうちしていいまといれるようほん といしてうれたいのいたろれとしてるころにいっれ P 100 1

取ったはいではやろれるしてくしてし しろうしたをいいというないうちんろうころいちもんと ちう時間のととおろしてまるは医院とろうと うわしてやくるほうかをするしていなしろうにいう

言見てきるうろう

かんらあっに ちんしてもつろう

くちとえし

ろんろうろうれうしちちろうらな ろうとけ うん 大敵ろとやかいうくもンと書をつくえぼちょうもでしん あなられゆかうええるーうきもちしんしていたりはなとうたろ るぞうれらかうろうでまいとしてほうけるとうもろうして あっい~ きくんいとろんりましんしんし うろうえますうえをもうとくうなるいろい NOR SAL そうちちんをやうねんちんとぼくころちんにはそう うちかろうてろうとしろうろうないろううちろうちょう してしまたのでんとろうとうとうれるもしてま えんちましきしますして、「しんちもほしとしたろうしものと はして日一ろをしいもしいろうしろうしとうとうとうなるなったって ナーテてちまれるとうれうれていてくいろうしとと見 空気のい こりましたろうでしろうというときをしてくろろ ろん~ はえんにんえんて ちちちちろう ゆまれちううちなろうれくてねったらて ちとんないべんにはわらのないのあえのほろろう える中国るナーフーえきして中の地方は展下しるほど ころうくやうくとしたころしまうちいいろにとろうと近ちょ - うちろうろうしょうしいしいいいいいをうちまする夜 a france

ald. 大敵とれちちょうとうれてきるころしてもころしてんと あてろとれてもまけにとろうとうとうとんとなし 高部百俵 きまううなんとろん ちてろううとれりけい うましたしろし うちちょくししん ころとち ~~~ ゆるしきましきのちゃ ちくれきにものできたのほとうろうしもちろにとううし こきととう~ みられをあ」 おーろ~ ちとを見ていうこのなまでいうまろくまうなしそ 坂真着宗之

死をししっれいる神をしきなってはる屋屋尾家内ちきで うっととんしきまとしてきれい年にもようまうう えっかかるというころのことしてほしていうちのの原 えまろうズレーを行うもあるともろしてるともにうしてない そちりしいうそう中勢をうちなしてにうけるとうろう ころをきしのうくますありようなをやしろいるはしる林まうり まねんうきまなとういとう なとを読はまう、シティ してちの極人物よういのとちろくしょくちろくとい

近ちろうちょうとうとくろうけんしんちんとんろ いろろうころろろうろうそうということのと ちろんきちまととういうろちちまできろくしておもうろう とうぼう しまににとろうれとろうちします えしたうときならけこうとうしてれるてものからしまちている 雨中代はいうちょ又喜うを言葉っきんというしている三気 このなくろうしまは肥けしていろううれとううをきます 、まちやえるとしろしろくとうなまろうてひらしまし

「そう」

The second

富和いれるしていうろはろろうないうたろうべきろうとい たして、時報をしりきするとろまし、るはる年ををうまし ふくうんえきましたうろうろうちりわし うちをし ちしかう かろうくろん ろうきちまとくちって ナーモーモーモーをあるいとうちょうりくうましてからう ちしろうてきませいうろうしてろうものちょうろうしたる しろうしきほり中国にもうろのけの近ちろうちょう ちしていれないというのをにしろうえんちましょうけ ましたろういかろうなってるなのとろとろうりのまや それをするうれてしたうりにいようもうれらうちょうも

あちらっけてもうえるとろうろうちょうしてたいまして ろうれられてきのは、ころのは、ころのとうしいろうにいいうなってい 大敵うようちろうれき何きのほどしてれる住うきょうだきた 高二百俵 ちわえててくとうよろうち ろえてしたくこと 日本シーとるとうとうにたちの私ますういとう サカイはからうのほどろうと又れきのろうとうで モキナイモノモーえて まちうとあるといけめといってせいいろうろうううです りちきまうをたうちて う駒なますうろ うちとれり伝えすととうこれもちにんとうきなうます なるも又れまっていえましてまーをまたしうよ おえたらうにしられしられていたとうとして うちんとうやくろんしくちにいろというでもいううし はまたっからてなとのにはあっきんったりたちはあう うふいしきしていろしとうろうなちのかいちをたって ついっかいろう ちん ううちょうでいいろう~ - Let 坂 玄道法眼 「ない」と考

電報」強得していなうままままます」そう 肥南の前ようちゃんりゆこちとしてれしきにたろう 大樹」消えしていていまとなししちうううましてもんましょうション 家有うろうろうれは国際とととうれる「ほう」 ろえす-したらころとおえたちったいられりまして 辛こ 高二十人扶持 そういえしもてないろうんとうれ にんちんにとろうしてほうましきないろうちちろうちろろう なって ちちちろくしてい これを招きるとしくころない、東文シーをうれ 嗣ふとろうというろろうこうしろわて りううしてはまれとうゆうようろうしょううろう 高えーをううう又どろうえきー なりなまうんし はまうこうろうほうしくけるとはましとし 他ほうりまして あくろうなく 妻ををし おもとう なるとちとうれらうちょうといれてくろうろうく 上国ようしりれいえ福三年を有すろうちょ ひっのころろううな事 坂玄龍

るちろう 発信していてんかいろのうううう 事の言のも祥とほうてうしもなのかえくうほくにうし そうちううきをしていなとく ふしうのはいとうい多なったいいこれいあえ なろとしとぼうといううにすまれいる事でほどを行う これどうろしてまたいろしくちょうゆうも ろれれほど形えとしてきろうちくし うろうなく、世生男いくこうちょうない、言うしいう 教えら教経りしかえのなるのできてしてい なってほどのもどうしいあえっとうしんをあんゆうそ

うろうえういましこは

になったろくをしていていたかり ころれってのないううちちけいろうころく とろうう 多地のなまとうふち肉しをみけるしてちる気 あくうれきまいしたとうるまでうろろうとう 

高二百俵 多記安長

いとろうう

それ二丁レとうほうしてもちちにちろほうのうう 三使うましょんいしていていてまうたっけいんとうとうし

大敵うよめろしていうやくうやうちえましたとんをでうたや 大雨をまれたんととうりましいうりゅうしょうにくうろくいろうしんでいましん 家方ろうろうろんとしていましていましていましていて、又を新 おとかうとううろうななないろうに個にしてくならう何と ちちちらん やえしょうないと ちちゃくしを 後漢雪帝三世称丹波東朝之子依雅 頼定九世親ええ、養子寶が成氏、町 +七世 森左京大夫典 葉頭、東東之婚田力 多記家系圖 あちはなっえろうし はようかしろうころれまちいみのようほうして よういうろれっのえまするほしろうないろううと いいいいとう人生なういを見てきてるをカーイシー れていてなころううちれをなるうろうしと しきれたけないろやかったとうことをまたといえきうほ てしんろく らくもきないに内なるろううととろう 十日年 夏のナイーシア 時代 してくろうれ もえまれると 金信ろしましますうとくまうりけるとろしろし ちけるとうろうろろろろろうろうろうとろうとうとう 本名東東改金保 本國山族

「日のからいちょうろ 00、東東玄赤 多記安元法眼 高七百石 多記道訓-桂川南鐵 女子 山本宗供来 多記永壽院法仰 女子 養安え法服妻 すいちらいましてるいろしょうれないうて 医ちちょうしょうち あるが神はろれ朝を天哭う大きりれなせるえない 形信家いも思しる」 ~~~~ 天武天皇三十一个代張的 亦致金保道部 桂川市周紫子 金保安齊 湯川安自 多記安長法服 女子 松言を 山崎宗德 湯川安道 大村立郎 多言真音 山崎宗運茶服米震子 松橋宗迪 玄影 金保安野 多記安良 女子 銀之り 女子 始出之承

言をなう、海人」とうていましいか~~~ りまくうしょう又をえてたち 富家してもうれ侍家」 をもうれるなころなとれってし 有他高くひろしてもしを言いまするますりまして大きしい してううやしろろう年奏をなりこううわて いていているのでもしますのいろうろうキー・アナリカン ろしいとろうののかんううないいうましまうち きにうまでころちょうろう~りいましまいなきの愛にうる えらえれまとれてしてくろくものあろうりれる 二百なろちてもろうううなる手のなくしてころろく 成えいはかきうろうたろと親を後きい国内書し ううれるまちまるりんの時ししてたきやりしてうれなどを ななるとうれ 美別とちろういろれるのなえる うま するをもいうないましたこうすろくうしてんええらきをも 又言通はなうきなしてとことしてにときるといえてる すちかちてくろううちろくとまちにころに ゆうちのなともちょういいいろうしてはいうなとれたいろう 日本ままするからちられきしていいしとうれた エアーチアンスーシンろし 旧とこうとしとうわたねったうしましきものなろうこう うちろく

00天武天皇 業賢 宗向 花隆 松梧二宗迎法服玄角 民街 海雄 妻室賀下總守正信女 村戸国手左王門 里長る えして早世とう報ニーをどうのきっころうと あなる れあるとほうころうもして見てろうう 院院ろんのましとうとてあるったかろまれて 一良新 宗賢 東業 房則 赤ろろろう 松橋家系圖 一直四月 舎人親王 -二宗本子 仲隆 業頃 一元 理一 松橋宗迪玄倪 始好着 長養 清原姓 京 女子 本國山城 ムス 夏紫 一廣隆 長賢 位在 早世 從三位 川井七士局妻 頼尚 一元 皓 松福長着 以峰 日豚翠町 一朝天子-小倉主一夏野 一眼本 一定 海上文康 宗聖永 良板

大敵ろれたちのちしろしてうくうろうとうたうすうちちちちょう 高二百辰 サ子 藤本三郎 妻 能橋泰町 松橋真菴玄道 早世 大保文石雨忠敬 松橋新三郎 キチ 為太保新成 塔表長子 きていうというせ~こてはちょうちんでし ままううにとうれてきました にありまうて 医きまちい うりもしていろう 中原素家家常吃吃了了小小又要会吃了要要的到了 うてものもっというかとろうしの人日来でらに焼をえれ 早世 女子 水浦之 宗迪玄影 秦 れ田春長正上もあか 之子 書命務 宗恒 女子 女子

いいましたうちょう

「言ころうちろうれ」「ない」のほとうとうれたうちのものをにと 人 そうにそうなうたとうころを見とくろちろ 大敵をよけてもうちろんで三十日ともりこともろう あっているえーとうえるころをしてりて又ゆるうけると あるうれたけないちのほとうとうれしてうなるう ちぼうしていていういううないましょうううう 「おしくいまうろこにたのける」のうろう 高六百石 ろうしろうゆの手をたちしてたくしてあっていくし る見に信言なと事にく~とちろち~~~ 又なえらいなとろしているからうてもうとれます。 ろち--ちろくるまにないりやとほうとしまろらんと 富谷があれる谷の客は住意ならてる神かのかり うちちもろうろうしてとろうしもちにいてしてうう あっちちちかんころともんろうを長ろううろうとしう ころうちろうちろうくりきましてあったっし ころうをゆめての書でいたらく うろうろくろろにんとうねやして やちます-うう 南谷福安

首谷玄梁 花素

高二百石

青言ろうろうしていうであってそうれりころすろろ 「ほろしのなるちものをいとろうというちょうまれいうちょう ゆまっますろうしろい中村のたうとしてもとしてい しましていていたいを得する年 は年代 てちょう 死をし 人はんと酸素町 承天を加えてん ちちり年まうちろう いてましたうろううろうとういろろはまうしろろうし ちからうろうろうというしてきにろう mark - march - the for これのもなくとしてなえいまでもややけらうちょう えるをする年上しろうくしろうて 素人をきいれといういことうをしていていていてもしていたとう ましてもちろうのでしていましてのろこのほどろうし はゆう気をしてりチモーチャラーあっちかろころろ 「「「いうろうでを送」けんしていれるい」をなどしてと ひろうてれ言う保テシーキの文化協いとうろうしょう こうんとうとうかろうく ちろう ちんえと ろうろうや

あするれゆろほろをうう 大敵というゆうなるものちょうとしていう日見ろうとして ときていたいうちりものととしこれにきっとううになっ 高二百俵 言的三百依 やろれもれいゆろをあとうないろういうして 除ときっているとれるころしててをろうせんもうと ちちえまー ちるんモデーホックをないえし ちちちちちちちちのしいろううりをないていろううう なく、日内ちろうろううしいてあとみゆううう せていろうちろうろうて 「まちんやくろと ろうやくろ うちないとうちのないわられまうしたうしにうたまう日にまちょうう 村をないのもとけとえてううが制裕ちしてちろう ろうなきましたれるのころをかっていくしくう していうなってもましろういちにころナイ 甲方面 しったうちのまんないしくちろろろ 南谷ひち 一之 野間云豚法服 成式

一丁りにいっとしたって せしてもないのもろうなってはる書の日院福隆こうし 青言でくうねんしょうといううううちももとにくまれ 大いろうちのうろうろうろうろうろう うろくろしてましてましてま 言言をいうちょうれいましてほとろうちょうろう あっちまうあっとほどこしくうちのとうろうろう ちないないを見まるとうろろううううううろろを手を手 こういうろがろう ちろちくううなったとしていうないいろろしてりま まちちうちのうえん ろうとにし、うちにん 王とそれというしてうろうをあえたきらしたます こうないとうぼうししもちにいてろうしくちなると ちえーしてうちっちの たろろうりをしまううう いううういろういろうちょうとうとうとうとうとう このほどうろうししきにいとこうしっとほうからの えーろうて あってあるもろうないころろうんまう やりちょうろうろうやしとしてこうちちとうろう ちちちったって - とうなれるまうしきまうしにますのにしますのにします -----1 ーシーモ

言ろういれてうほうをとろうになるの~~えるすま~」てもん 南京了ろくしてもことれとて安まするとまちん 大敵とうろうとれる内いろろうけけしてれたろうろうに る男としんをう、同差たうしろを通を院にするの 南するれちかるうののにしてういてあるのでとれどうろう さってもなっちちゃとうろうろ とちろん 「ろうしいまーをないりみるってしたう ことけてしたっているのでのでいたいたろうとなっている 夢のとますとしてま まういういもろうなくそうろううりなけとろうとう な素院は第一峰 う 報ときいこう 居臣な新了~~ 整理していてんしてきしていていていてい 国はちてえ手機よしていた言をは信はほうちて ありそこう しろ しきをかし、「ちっちょうないしまして はちうちょうれるとなしろうと使う事る年れ ちかいみ うつい ないるもいれ ナーちょう みん えんこう こんくとろう ~ えいとう ~ 子中 アーケー えをう かっと ちまうりましていているといい

言同三百像十人扶持

装江長伯 光

有使うようちょうれ信かしろうとうない手手てきますサンビを うちちられしろりちろをやますちろう又信をしてて うないれるほうし 三百ない+なとろうてわ新しいとんちったのろ いますこうにうえきどうとろうりほそうしたろうし 聖子行言語としてとうそれもえ、「書き」三年 三年 いれころーろはえりろううろきしているとなる。院 そそりをううまうしてんとものほぼの 「「ときと ちる教徒院は言言を得たとしてころにとを指し しまになとろうしこの信も人はいとよろしてとしくう るれとうくとう保上をする時かうしううちもちといれてく とうことそのるときに風気のいたくろうろうろう 27

Kitasato Memorial Medical Library

「ろんれ新陸風ころを低低長とある、せっ



